

富士養鱒場だより

第200号

平成21年1月号

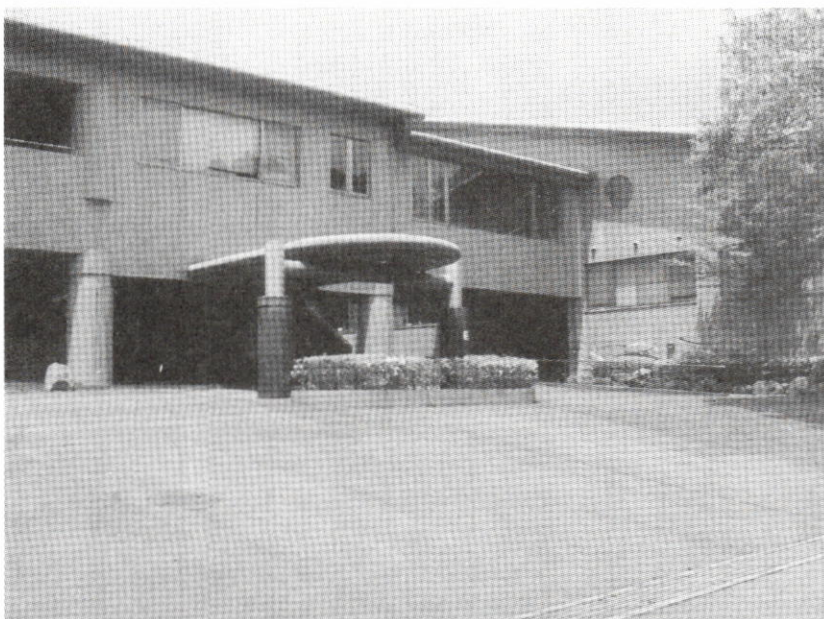
静岡県水産技術研究所富士養鱒場 〒418-0108 富士宮市猪之頭579-2 TEL.0544-52-0311 FAX.0544-52-0312
E-mail suishi-masu@pref.shizuoka.lg.jp URL http://www6.shizuokanet.ne.jp/fujimasu/

富士養鱒場だより 200号を記念して

場長 川嶋尚正

富士養鱒場だよりが発刊されたのは、昭和43年1月でした。“発刊にあたって”ということで、その趣旨や目的について書かれています。当時は今のようにインターネットなどはあるはずもなく、情報の伝達が、きわめて遅い時代でした。年1回の事業報告ではタイムリーではないということで、年6回の発行をしていました。いずれ、月刊にしたいと述べられており、当時のやる気を感じます。

今では情報があふれており、正確な情報を掴むためには取捨選択が不可欠になっています。当场でも“富士養鱒場だより”以外にホームページもアップしており、逐次情報を出しています。趣旨は発行当時と変わらず、情報の迅速性が目玉です。研究成果をお知らせするのはもちろんですが、研究会や講演会の紹介など、生産現場にすぐ役立つ情報を目指すという意味では何も変わることはありません。近年では、マラカイトグリーンの使用ができなくなった時に、その代替薬剤の販売が近いことをお知らせし(188号)、パイセスが発売されると、そ



のお知らせ(189号)、さらにマラカイトグリーンの自主廃棄の呼びかけ(190号)と次々と情報を発信していきました。これからも、発刊から続く趣旨を大切にして、迅速かつ適切な情報の発信を行いたいと思います。ホームページとあわせてご利用いただきますようお願いいたします。

創刊号から140号までの目次については、すでにまとめられており¹⁾、今回は141号からのものを以下にまとめました。

(川嶋尚正)

引用文献

1) 静岡県水産試験場富士養鱒場(1993) 富士養鱒場六十年の歩み, 100pp.

富士養鱒場だより 総合目次 (141号から200号まで)

発行年	月 号	題 名	著者名
1993(H5)	4 141	新任の御挨拶 平成4年サケ科魚類の生産および魚病発生状況	岡 英夫 鈴木基生
	7 142	養鱒技術の交流 第18回全国養鱒技術協議会に出席して ヨード剤の飼育水中への連続添加によるIHN発生抑制の可能性について	五十嵐保正 鈴木基生 田中 真
	10 143	低濃度ヨードの飼育水中への連続添加によるIHN対策 アマゴ発眼卵の河川への放流	田中 真 鈴木基生
1994(H6)	1 144	平成5年サケ科魚類養殖生産および魚病被害発生状況 富士養鱒場庁舎の整備について	田中 真 岡英夫
	4 145	高品質ニジマスについて ニジマス夏期採卵開始 富士養鱒場遺跡調査の結果について 平野正義さんが退職されました	岡英夫 田中 真 岡英夫 田中真
	7 146	ニジマス売り込み大作戦にわかセールスマンの弁 養鱒排水の給餌及び清掃における懸濁物の負荷量と沈降性について 第19回全国養鱒技術協議会、札幌で開催	岡 英夫 五十嵐保正 岡 英夫
	10 147	全雌アマゴの生産 ホルマリン薬浴による生産卵の発眼率と出荷率の向上	鈴木基生 植松久男
1995(H7)	1 148	静岡県の河川環境と水生生物 (1)	後藤裕康
	4 149	平成7年度の仕事の進め方 富士養鱒場整備計画の経緯について 新しい施設について	岡英夫 五十嵐保正 田中 真
	7 150	静岡県の河川環境と水生生物 (2) 研究部門の竣工式が行われました	後藤裕康 阿久津哲也
	10 151	平成6年サケ科魚類養殖生産および魚病被害発生状況 第20回全国養鱒技術協議会の開催 第7回にじます祭り	鈴木基生 後藤裕康 後藤裕康
1996(H8)	1 152	平成7年のサケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について	鈴木基生
	4 153	新任の挨拶 退任のご挨拶 平成7年酒乱生産状況調査結果	鈴木克宏 岡英夫 阿久津哲也
	7 154	給餌条件がニジマスの親魚養成と採卵成績に与える影響について 第21回全国養鱒技術協議会が開催されました 第2回さかな王国海のフェスティバルが開催されました	植松新造 青島秀治 青島秀治
	10 155	富士養鱒場の雨と湧水の関係について 平成8年度夏期卵生産結果 チョウザメを飼っています 県民の日に伴って場内が無料開放されました	阿久津哲也 青島秀治 青島秀治 青島秀治
1997(H9)	1 156	平成8年のサケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について 平成8年度種卵生産状況調査結果 テレビの生中継がありました 養鱒研修会の開催	青島秀治 阿久津哲也 青島秀治 青島秀治
	4 157	新しい富士養鱒場の仕事の進め方 大井川の在来イワナ調査 場内の樹木のネームプレートと植栽 生産業務移管協定書交換式が行われました	鈴木克宏 後藤裕康 鈴木克宏 藤田信一
	7 158	富士養鱒場のニジマス種苗生産の経緯-I	鈴木克宏
	10 159	富士養鱒場のニジマス種苗生産の経緯-II 第22回全国養鱒技術協議会が開催されました 第22回全国養鱒技術協議会が終わって 県民の日とにじます祭り	鈴木克宏 青島秀治 藤田信一 青島秀治

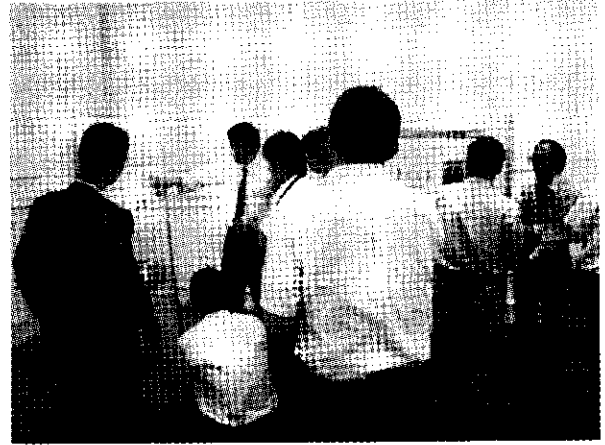
1998(H10)	1	160	平成9年のサケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について 平成9年度外部研究員招へい事業研修会から	青島秀治 後藤裕康
	4	161	平成10年度の事業の進め方 平成9年度の種卵の生産状況について クローンニジマスを利用した育種（前編） 養鱒研修会の開催	鈴木克宏 藤田信一 阿久津哲也 青島秀治
	7	162	平成9年漁場保全調査結果	青島秀治
	10	163	魚類の生体防御機能の測定法について 第23回全国養鱒技術協議会が開催されました 第10回にじます祭りが開催されました	青島秀治 野田浩之 藤田信一
1999(H11)	1	164	第4回静岡県青年・女性漁業者交流大会の開催—富士養鱒漁協婦人の会が全国大会へ— 新任のご挨拶	藤田信一 柳瀬良介
	4	165	平成10年度のサケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について 平成10年富士宮市淀師地区で発生したガス病について	青島秀治 鈴木克宏
	7	166	クローンニジマスを利用した育種（後編）	阿久津哲也
	10	167	ヤマトイワナ種苗生産試験 第24回全国養鱒技術協議会が開催されました 第11回にじます祭 8月21日「県民の日」に開催	野田浩之 青島秀治 藤田信一
2000(H12)	1	168	ニジマスの自発摂餌について 養鱒技術研修会の開催と講師派遣について	野田浩之 青島秀治
	4	169	平成11年のサケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について 養鱒場における給餌方法、給餌量の実態調査	青島秀治 野田浩之
	7	170	製法の異なる飼料によるニジマス胃内容物の消失速度 第25回全国養鱒技術協議会が開催されました	阿久津哲也 吉川昌之
2001(H13)	2	171	芝川水域の水質について（前編） ニジュール紀行 第12回にじます祭りが開催される	野田浩之 田山卓男 吉川昌之
	3	172	平成12年のサケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について ニジュール紀行（2）	吉川昌之 田山卓男
	4	173	芝川水域の水質について（後編） 平成12年度富士養鱒場来場者について ブラックバス問題について	野田浩之 鈴木進二 鈴木進二
	7	174	魚病を未然に防ぐ 富士養鱒漁業協同組合新組合長へインタビュー 地元井之頭中学校の生徒が、当場で職業体験学習	吉川昌之
	1	175	禁漁区におけるアマゴの棲息量調査 第26回全国養鱒技術協議会が開催されました 「県民の日」および「にじます祭り」で、会場が無料開放されました	野田浩之 吉川昌之 鈴木進二
2002(H14)	3	176	第1回養鱒研究会が開催されました 「富士山にじますの森植樹祭」の開催について 当場の防疫体制について 富士養鱒漁協のホームページがリニューアルされる	望月万美子 鈴木進二 鴻上 繁 鈴木進二
	6	177	就任のご挨拶 平成13年のサケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について	長谷川薫 吉川昌之
	10	178	平成14年度大井川の在来イワナ調査について 第27回全国養鱒技術協議会が開催されました 県民の日と第14回にじます祭	鈴木進二 青島秀治 青島秀治
	1	179	第3回養鱒研究会が開催されました 漁業士インタビュー 第2回富士山にじますの森植樹祭が開催されました ますつり大会が開催されました	鈴木進二
2003(H15)	4	180	就任のご挨拶 静岡県における平成14年のサケ科魚類の生産と魚病被害の状況	安井 港 青島秀治
	10	181	平成15年度ヤマトイワナの生息状況調査 薬事法が改正されました	鈴木進二 青島秀治

2004(H16)	3	182	講習会が開催されました 水産研究発表会が開催されました 平成15年度の富士養鱒場の降水量とガス病について ますつり大会が開催されました	望川万美子 川合範明 鈴木進二 鈴木進二
	5	183	平成16年度の養鱒場の事業・研究員の紹介 平成15年のサケ科魚類の生産状況と魚病被害の状況	安井 港 青島秀治
	7	184	光触媒システムによるニジマス受精卵のミズカビ対策 井之頭中学校水生生物観察会が開催されました	青島秀治 青島秀治
	10	185	大井川源流域におけるイワナ類資源生態調査 第29回全国養鱒技術協議会が開催されました	川合範明 青島秀治
2005(H17)	1	186	ニジマス親魚の採卵後の斃死について 青年・女性交流大会が開催されました 10月に台風22号、23号が相次いで来襲しました	中村永介 中村永介 青島秀治
	4	187	新任のご挨拶 平成16年のサケ科魚類の生産状況と魚病被害の状況 吉水先生の講演会が開催されました	五十嵐保正 青島秀治 中村永介
	7	188	平成16年のサケ科魚類種卵の移動状況と出荷形態 マラカイトグリーンに替わる魚卵消毒剤が近日中に発売される予定です 富士養鱒場野鳥の会	青島秀治 青島秀治 中村永介
	10	189	平成17年5月大井川源流域におけるイワナ類の食性 魚卵消毒剤「パイセス」が発売されました 全国養鱒技術協議会第30回記念大会が開催されました	川合範明 青島秀治 中村永介
2006(H18)	1	190	魚卵消毒剤「パイセス」のミズカビ防除効果について 改正水産資源保護法と改正持続的養殖生産確保法が施行されました 原谷川アマゴ発眼卵放流指導 在庫のマラカイトグリーンの自主廃棄をお願いします	中村永介 青島秀治 青島秀治 青島秀治
	4	191	平成17年のサケ科魚類の生産と魚病被害の状況 講習会が開催されました	青島秀治 望月万美子
	7	192	大井川源流域におけるイワナ類資源生態調査 第53回静岡県あゆ友釣り競技選手権大会が開催されました 野生のカルガモが養鱒場内で子育てをしました	川合範明 五十嵐保正 岡田裕史
	10	193	抗菌コート「KENIFINE」によるミズカビ対策 第18回にじます祭が行われました	中村永介 岡田裕史
2007(H19)	4	194	平成18年サケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について 舞田先生の講演会が開催されました 漁業士会総会が行われました	望月万美子 望月万美子 岡田裕史
	7	195	水産試験場から水産技術研究所へ 統計に見るマス類生産の変遷 井之頭中学校水生生物観察会が開催されました	五十嵐保正 五十嵐保正 中村永介
	10	196	第32回全国養鱒技術協議会が静岡で開催されました 河津川でサケが捕獲されました 県民の日イベントを開催しました	鈴木基生 中村永介 岡田裕史
2008(H20)	1	197	河口・沿岸域におけるアユ仔稚魚の資源生態研究を開始しました アユ調査で捕獲された珍しい魚	岡田裕史 岡田裕史
	4	198	新任のご挨拶 平成19年サケ科魚類の生産状況と魚病発生状況について 養鱒研究会が開催されました	川嶋尚正 中村永介 鈴木基生
	7	199	ニジマスのレンサ球菌症に対する不活化ワクチンの効果について 井之頭中学校水生生物観察会が開催されました	鈴木基生 鈴木基生
	10	200	富士養鱒場だより200号を記念して 富士養鱒場だより総合目次(141号から200号まで) 第33回全国養鱒技術協議会が開催されました 夏休み特別企画を開催しました	川嶋尚正 岡田裕史 岡田裕史

第33回全国養鱒技術協議会が開催されました

7月10日、11日に、山梨県甲府市のベルクラシック甲府で、第33回全国養鱒技術協議会が開催されました。今回は「食・遊～高品質な魚作りを目指して」をテーマに、「養殖JASの概要について」（農林水産省消費安全局 小椋 容一氏）と「釣り人から見た河川放流について」（フィッシングジャーナリスト 佐藤成史氏）の2題の講演が行われました。また、各部会の活動報告や研究・活動事例の報告の他、昨年より始まったポスターセッションが本年も開催され、本県からも「出荷ニジマスの品質調査」、「養殖場で飼育されるアマゴの遺伝的多様性と放流種苗への適用の可能性と問題点」の2題を報告し、活発な意見交換が行われました。

(岡田裕史)



ポスターセッション

夏休み特別企画を開催しました

8月10日から31日まで、富士養鱒場内で夏の特別企画を開催しました。これは場内を訪れていただいた皆さんに、夏休みの楽しい思い出を作っていたらこうと企画されたものです。

内容は、ニジマスなどを放して触れ合ってもらう「ニジマスふれあいプール」、マス類の卵と稚魚の展示コーナー、会議室を利用した養鱒業紹介パネルと河川の水中映像上映コーナーなどです。水槽の設置や看板は職員による手づくりで低コストに努めまして、御利用いただいた皆さんには、好評をいただいていたようでした。

(岡田裕史)



稚魚展示コーナー

富士養鱒場の湧水と気象

月	天 候 (午前9時、日数)				降水量 (mm) カッコは降水日数		湧水量 (万トン/日)	
	快晴	晴れ	曇り	雨	20年	20年平均	20年	20年平均
7月	1	18	11	1	108(9)	288(13)	65.6	58.4
8月	1	18	8	4	346(17)	311(12)	45.2	72.1
9月	4	10	13	3	157(10)	449(13)	45.4	91.1

7月2日 研究課題評価部会 (本所)

日 誌

<p>6日 天竜川漁協アユ講演会(浜松市)</p> <p>9日 中国紹興市訪問団9名来場</p> <p>10日 全国養鱒技術協議会(～11日、甲府市)</p> <p>16日 普及指導員一般研修専門コース(～18日、佐賀県)</p> <p>17日 東京文化小学校50名見学</p> <p>24日 富士市小学生18名見学</p> <p>31日 静岡県農友会海外農業研修生11名来場</p> <p>8月4日 伊東市理科教育研究会理科フィールドワーク(伊東市)</p> <p>5日 神戸製鋼来場</p> <p>6日 愛知県内水面漁場管理委員会10名来場</p> <p>養鱒研究会(富士養鱒漁協)</p> <p>10日 夏の特別企画(～31日、場内)</p> <p>11日 掛川市アマゴ養殖業者11名来場</p> <p>12日 国立環境研究所研究員2名来場</p> <p>14日 富士見学園20名見学</p> <p>20日 富士宮市フードバレー推進室親子施設</p>	<p>見学(場内)</p> <p>21日 県民の日親子ニジマス教室(場内)</p> <p>22日 静岡県理科教育研究会東部支部研修会(場内)</p> <p>23日 静岡県学校調理師会沼津支部15名見学</p> <p>9月4日 全国湖沼河川養殖研究会(～5日、大分県)</p> <p>5日 漁業士会中部支部行政との意見交換会(本所)</p> <p>芝川漁協事務局来場</p> <p>8日 東京海洋大学 舞田教授来場</p> <p>9日 技術連絡協議会(場内)</p> <p>16日 東海大学ウインドサーフィン部15名見学</p> <p>18日 国立環境科学研究所研究員来場</p> <p>25日 東京都世田谷区立山崎中学校20名見学</p> <p>26日 東京都世田谷区立桜木中学校25名見学</p> <p>漁業士会役員会(静岡市)</p> <p>30日 東寿会50名見学</p>
--	---